



第40号

# みせん

瀬戸内海国立公園  
宮島地区パーク  
ボランティアの会

発行日  
平成22年 6月1日

## PVの会設立10周年 記念特集号

### ◇ 目 次 ◇

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| P2、3 宮島地区パークボランティアの会 10 年の歩み | P7 平成 21 年度活動記録              |
| P4 発足時の思い出 杉本 賴優             | P8 PV の会 平成 22 年度総会          |
| P5 公募観察会実施状況<br>投稿文 野呂田 恵子   | P9 西野自然保護官 プロフィール            |
| P6 宮島新八景                     | P10、11 新入会員 自己紹介             |
|                              | P12 宮島二流記 平田 広三郎             |
|                              | P13 鷺ノ巣砲台跡整備、入浜定点<br>観測 編集後記 |



宮島に通い続けて  
10周年

## 宮島地区 パーク ボランティアの会

宮島地区パークボランティアの会は平成 12 年 6 月の設立総会で正式に発足、以来 10 年の歳月を重ねてきました。また会報「みせん」は同年 9 月に創刊号を発行以来、本紙が 40 号の記念号となりました。PV の会 10 年間の活動状況をまとめて特集としました。

年/月 ◇ ◇ ◇ ◇

H11/7 会員募集、研修開始

H12/4 第 1 期会員登録 44 名

H12/6 設立総会開催（出席者 ↓）



12/8 JPR 支援活動、以後平成 20 年まで毎年夏に実施

12/9 会報「みせん」創刊号発行

12/11 研修会で鷹ノ巣高砲台跡を探訪  
翌年から毎年整備、清掃作業実施

12/11 臨時総会開催 役員選出  
会長 横山 忠司  
副会長 中川 正 足立 清  
会計 末原 義秋

H13/4 自然保護官 杉本頼優→桧垣淳夫

13/5 初めての公募観察会を弥山登山道で実施、一般参加者 23 名、以後 2 ~ 3 回/年、定例行事として定着

H14/3 観察会テキストとして使用する



## 10年の歩み

パンフレットを編集、発行

① 弥山登山ガイドブック（弥山史跡巡り）

② シカ保護（シカを救うのはわたしたち）

③ 自然観察会テキスト（弥山原生林植物）

14/4 新入会 12 名（会員総数 49 名）

14/9 PV 合同交流研修会（大久野島）

14/11 臨時総会、役員改選

観察部会長 村上 光春→副会長

H15/1 宮島桟橋 2F に自然保護官詰所開設

15/4 総会で年会費（千円）徴収決定

15/9 宮島で三地区 PV 交流会開催

15/10 JICA（国際協力機構）研修生が宮島で観光研修を実施する機会に PV と交流した。以後毎年 10 月頃来島し研修している。

H16/4 自然保護官 桧垣淳夫→高木丈子

16/4 新入会 8 名（会員総数 48 名）

16/5 横山会長、体調不良で退任、足立副会長が会長代行

16/9 台風 18 号襲来、包ヶ浦、大元公園で倒木、折枝の片付け、清掃などの緊急災害復旧支援活動に参加

16/11 臨時総会 役員改選

村上 光春 副会長→会長

前田 勲 観察部会長

16/12 所在不明だった町石＜元文十六丁＞が弥山登山道崖下で見つかり、会員の人海戦術で引き上げた

H17/2 三地区 PV 交流会（倉敷市）

17/6 環境省 H P に PV の年間活動計画、会報「みせん」を掲載開始

17/9 台風 14 号が宮島に土石流災害  
町内民家の土砂除去作業に協力  
3 日間延べ 29 名参加

17/10 PV の会旗制定

H18/2 鷹ノ巣山、高砲台跡観察会に一般参加者 79 名（過去最高）

18/5 入浜海岸の再生へ調査開始



- 18/6 環境の日、ひろしま大会にシカ保護の紙芝居で初参加、以後毎年参加してPVの活動状況をPR
- 18/7 包ヶ浦海岸の清掃活動を実施以後毎年海開きの前に実施
- 18/9 弥山登山道の町石について纏めた「弥山の町石しらべ」A4 28頁の冊子を発行、その後H21/6に改訂版「弥山町石めぐり」を発行した
- 18/10 広島県産業廃棄物協会主催の腰細浦・入浜海岸清掃大作戦に会から16名参加(7団体、160名)
- 18/12 役員改選で末原 義秋(環境整備部会長)→副会長
- H19/4 自然保護官 高木 文子→西 大輔
- 19/4 三年ぶりに新入会員 18名、会員総数 59名(過去最高)
- 19/12 会員親睦旅行、三瓶～石見銀山
- H20/9 平成17年の台風被害で通行止めになっていた大聖院登山道が復旧したので登山道の清掃作業を実施
- 20/9 三瓶自然館ガイドボランティア 12名が来島、PVと交流会
- 20/9 会員親睦旅行として四国カルスト、高知へ1泊2日旅行、参加者12人
- H21/3 RCC エコウォークに協力、博打尾～包ヶ浦コースで50人近い一般参加者を案内した
- 21/6 PV 10年の活動が評価され、RCC エコロジー大賞を受賞、副賞として賞金30万円が授与された
- 21/8 古瀬 浩史講師を招いて宮島でインタークリテー

ション研修会を実施

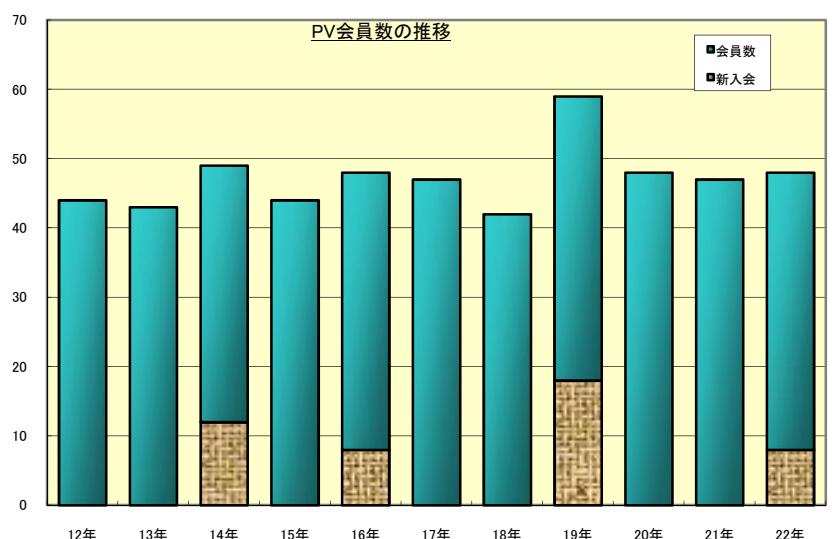
- 21/9 会員親睦旅行、1泊2日で秋吉台へ、現地で秋吉台パークボランティアと交流会をもった
- H22/4 新入会員 8名、会員総数 48名
- 22/4 入浜の植物調査、入浜池の汽水化への取り組みについて纏めた「入浜調査報告」を発行



エコロジー大賞受賞式

## PV会員数の推移

設立時の登録会員 44名、平成14年、16年、19年と22年新入会員が加わり現在48名、うち設立時からの会員19名で約40%所属部会毎の会員数 観察部会 24名 環境整備部会 18名 広報部会 6名  
(以下のグラフは毎年4月の人員、色違いの部分は新入会員)



## 10年前 パークボランティアの会 発足時の思い出 杉本 順優

杉本さんは会設立時の  
自然保護官、現在環境省  
北海道地方環境事務所  
(札幌市) 勤務

宮島地区パークボランティアの皆様、大変ご無沙汰しております。会発足 10 周年、誠におめでとうございます。「みせん」を拝読するたび、益々活動が充実され続けていることに敬意を表すとともに、発足に関わった者のひとりとして大変嬉しく思っています。

発足の年、私は平成 10 年 4 月に開設され拝命した広島自然

保護官事務所、自然保護官の 2 年目を迎えていました。岡山事務所の強力なバックアップのもと、ボランティアの募集や養成を始めたのですが、岡山事務所からの当初指示は、簡単に「国立公園という自然を維持してきていただいた地域への貢献と活性化のために何ができるのか考えよ」でした。とても難しい命題でした。

私が考えていたことは、せっかく会を興すのだから長続きする会にしたいと、①広島県内で活動している他の自然保護系団体と重複しない活動をしようということ、ボランティアというと大概甘えが出がちなので、②責任ある頼られる団体にしたいということでした。さらに、会員がのびのびと活動していただくには、③個性が伸びるよう得意な分野毎にグループ分けをし、研修の機会も設けようということ、④楽しみながら活動が出来るようコミュニケーションを保つ機関誌の発行や、活動の節目節目で打ち上げをしようということ、特に明文化はしていなかったと思いますが、幹事会の冒頭でそんな事を話したと思います。

有難いことに、私が会の設立説明に歩いた他の自然保護系団体のいくつかは、会員向けに募集内容を紹介してくださったところもありましたし、研修会の講師を引き受けてくださいったり、紹介してくださったところもありました。宮島町も会の活動に理解を示し、い



ろいろ協力をしてくださいました。機関誌も当初、皆で考えたコンセプトを守り続け、しっかりと役割を担っていると思います。

私の様な若造が一人駐在して、耳を傾けて、一緒に汗をかいていただけたこと、私は 2 度送別会をしていただいているのですが、1 度目は平成 13 年の芸予地震のあった日で、交通麻痺の最中、会場のレストランも水道管が破裂して営業が出来ない状況でしたけれど、宮島口まで大勢の方が来てくださいました。感謝とともに今も大切な思い出です。

幼稚園で広島弁を使いこなし、小学 1 年生になった我が娘も、この春なんとか高校 2 年生になりました。早いものですが、会は確実に足跡を刻んでいます。今後とも健康に留意されて、楽しみながら活動を続けられますよう祈念しております。

## 「新宮島八景」

P V の会設立 10 周年記念行事として「新宮島八景」を総会出席者の投票で選定しました。投票数と選外景は P 9 に記載。P 6、P 7 に八景の写真を掲載

- 入浜海岸と汽水池
- 鷹ノ巣高砲台跡
- 江之浦の山桜
- 厳島海峡展望台
- 厳島合戦と博打尾
- 登山道の幻の滝
- 岩船岳と高野槇
- 蓬萊岩と徐福伝説

また選外の中から特別に弥山登山道関連の四景を選び「弥山への道」として「新宮島八景」と一緒に展示します。

## 公募観察会実施状況 (04年~09年)

年月日	観察会	観察ルート	公募参加者
04/10/17	宮島の歴史、文化探訪	宮島桟橋→大聖院→多宝塔	28人
04/11/23	紅葉の紅葉谷植物	紅葉谷ルート→弥山本堂	35
05/4/24	春の植物観察	紅葉谷→博打尾→包ヶ浦	66
05/10/16	宮島の歴史と文化	山辺の小径→紅葉谷	10
05/11/23	秋の植物観察	大元公園→弥山本堂→紅葉谷	40
06/2/5	鷹ノ巣山観察会	包ヶ浦→高砲台跡	79
06/5/7	新緑の植物観察	大元公園→室浜→広大植物実験所	49
06/10/29	鷹ノ巣の自然と歴史	包ヶ浦→高砲台跡	24
06/11/23	宮島の歴史と文化	山辺の小径→大元公園	11
07/3/25	早春の植物観察	大元公園→弥山本堂	14
07/11/25	宮島の史跡探訪	海辺の小径（大元公園→室浜砲台跡）	15
08/2/24	冬の宮島自然と歴史	包ヶ浦→鷹ノ巣山・高砲台跡	24
08/5/24	厳島神社周辺探訪	雨天中止	
09/3/14	RCC エコ・ウォーク	紅葉谷→博打尾→包ヶ浦	46
09/6/13	初夏の宮島植物観察	大元公園→広大植物実験所→室浜砲台跡	19
09/11/21	自然と歴史・文化	復旧後の大聖院道（大聖院→弥山頂上→紅葉谷）	48

## 宮島に魅せられて10年

野呂田 恵子

子供たちが小学校や幼稚園に入ったのを機に習い始めたのが和裁です。すっかり和裁の奥深さに魅せられ、生涯うちこめるものに出会ったと夢中で取り組んでいましたが健康上の理由から断念することになりました。

そんな時、目に止まったのが宮島パークボランティアの募集です。宮島のことは何も知りませんでしたが、是非入会したいと思い、入会理由を気合を入れて書き応募したところ、50名の募集に対して50数名の応募があったため全員仮登録されました。

入会してからも家庭と仕事のかたわらですので思うように行事に参加出来ませんが、宮島の歴史、文化、自然と色々と学ぶ機会が出来ました。

そして環境省自然解説指導者基本研修（入門コース）が例年山梨県清里のキープ協会で行われていましたが、平成17年だけ広島県の休暇村「帝釈峠」で開催され、運よく参加することが出来ました。他の参加者はレベルが高く、恥ずかしい思いもしましたが、目から

うろこという形容がぴったりのとてもよい体験でした。このことを機にネイチャーゲーム協会のネイチャーゲーム指導員研修、NACS-Jの自然観察指導員研修に参加し、自然観察の取り組み方を色々と勉強しました。

また今流行のご当地検定が宮島でも始まり、第1回の検定で思いもよらずゴールド認定をいただいたことも宮島PVの会員として活動していたからこそ取得できたと思っています。

そして10周年記念行事のひとつとして新宮島八景の候補地として聖崎の名が挙がり、総会では聖崎に一番多くの票が入ったことも、聖崎での自然観察にこだわった私としては、10周年を迎えた区切りの良い記念となりました。

この10年すっかり宮島に魅了されていますが、今後もパークボランティアの皆さんと一緒に、色々な宮島の姿を発見していくことが出来ると思います。

PVの会の15周年、20周年が今からとても楽しみです。

( 6 )

みせん



入浜海岸と汽水池



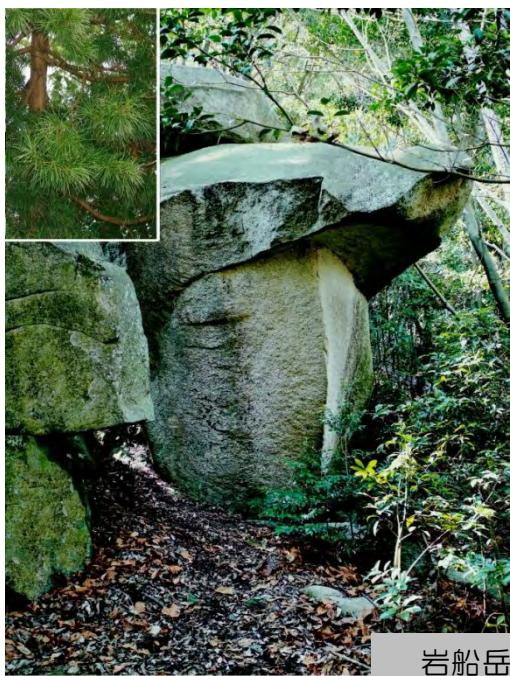
鷹ノ巣高砲台跡



江之浦の山桜



厳島海峡展望台



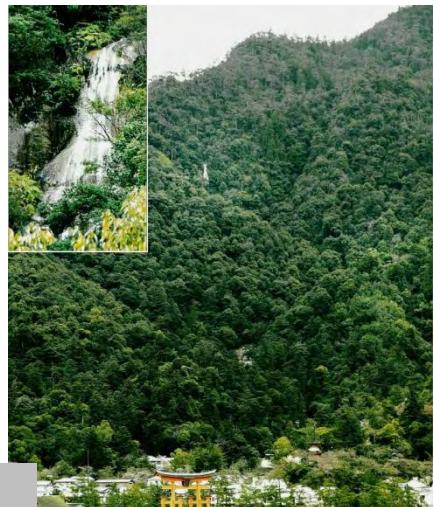
岩船岳と高野楓



厳島合戦と博打尾



蓬萊岩と徐福伝説



弥山道の幻の滝

## 平成21年度PV活動記録

平成21年4月～22年3月

	開催日	行 事	参加人数	備 考
総会等	4/4(土)	平成21年度定期総会	37	午後小なきり清掃
	12/5 (土)	年末会員の集い・研修会	25	入浜池のトンボ
観察部会	6/13 (土)	公募観察会（大元～広大実験所）	15	一般参加 19名
	11/21 (土)	公募観察会（大聖院コース）	21	一般参加 48名
	4/25 (土)	磯の観察会（聖崎・こなきり）	14	
	5/2 (土)	おおの自然観察の森	9	
	8/29 (土)	植物マップ作り・鷹ノ巣ルート	9	
	9/18 (金)	ハチクマの渡り・佐伯運動公園	10	
	10/31 (土)	島外観察会・三高砲台山	12	
	H22,1/9 (土)	新春弥山登山・観察会	14	新入会研修参加 4名
	1/30 (土)	冬鳥観察会（岩国門前川他）	14	
	2/27 (土)	鷹ノ巣高砲台観察会の下見	17	3/7 本番は雨天中止
環境整備部会	4/4,6/27,8/29,10/18,12/19,2/27	入浜定点観測,	延べ 57	
	5/16 (土)	鷹ノ巣高砲台跡整備、清掃	15	
	7/11 (土)	包ヶ浦海岸清掃	21	
	8/2 (日)	自然公園クリーンデー	15	環境省、廿日市市
	8/5 (水)	管絃祭前、神社海浜清掃	10	新規行事
	9/26 (土)	樹木名板保守点検	19	
	10/24 (水)	もみじ谷園地清掃、さくら作業	16	テングス病切除
	12/12 (土)	弥山登山道の補修・清掃	19	
その他	4/4,6/27,10/18,12/19, 2/27,入浜池汽水化復活作業	延べ 44	定点観測と協働	
	5/23、6/6 (土)	宮島自然海岸調査（大砂利他）	延べ 16	秋 10/17,18
	5/9 (土) 7/3 (金)	ミヤジマトンボ生息地保全	延べ 12	

# PVの会 平成22年度総会

PVの会では、4月3日（土）杉之浦公民館に於いて平成22年度定期総会を開催した。

出席会員 39名 委任状提出者 6名（会員総数 48名）

（出席者）足立 池田 井上 岩崎 大成 大西 小方ペア 小川 奥田 金山 釜谷 川崎  
北野 小林ペア 佐伯 佐渡 佐藤佐 佐藤庸 渋谷 島 末原 田中 富田 中道  
野呂田 平田 平野 佛崎 前田 弁田 丸平 三次 村上 柳瀬 横路 吉崎 六重部  
(環境省) 桑原自然保護官 大高下（旧姓広瀬）AR

## 新年度活動計画決まる

### ○開会挨拶（進行役足立副会長）

定刻9時30分に開会、配布資料の確認

出席者全員（新入会員は7名）自己紹介

### ○環境省（桑原自然保護官）あいさつ

4月1日付で西 自然保護官が松山自然保護官事務所へ転任

西野 自然保護官（本省野生々物課）が着任予定（次ページにプロフィール）

広瀬 AR が結婚のため大高下に名前を変更  
全国のパークボランティアの状況は、29の国立公園に対して 24 の国立公園の 40 地区で 1,660 名の仲間が活動。最近では外来植物の除去などの生態系の回復活動も実施

ミヤジマトンボの繁殖を確認

10月16日には、名古屋市で「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」を開催

5月22日は「生物多様性の日」



自然公園法第1条も生物の多様性を確保する旨の条文を追加

### ○村上会長 あいさつ

今年のキーワードは「生物の多様性」（去年

のそれは「チェンジ」）

生物の多様性を考える中、絶滅危惧種・外来種および熱帯性生物北上への認識とそれに基づく行動が大切

7月には会として「生物の多様性」についての講習会をする予定

### ○出席者数、委任状提出者数の確認。

### ○総会議事（議長 村上会長）

幹事会原案のとおり、次の4議案につき報告・審議がなされ、異議なく承認された。

- ア. 平成21年度活動状況について
- イ. 平成21年度決算（案）について  
野呂田監査役から適正との監査報告
- ウ. 平成22年度活動計画（案）について  
会長・各部会長から説明
- エ. 平成22年度予算（案）について

### ○意見等

- ・包ヶ浦海岸清掃に廿日市市、漁協の協力を得ては
- ・中国新聞へのサクラの保護取材について

### ○その他

足立：会発足10周年記念行事計画の説明

6月3日～8日 宮島町「ぎゃらりい宮郷」写真展示

6月5日（土）には同所で記念式典、茶話会を行い、記念品を贈呈する。

大高下：環境省 アクティブ・レンジャー写真展の案内（6/17～7/11）

会場 大久野島ビジターセンター

末原・舛田：当面の行事予定の説明

中道：お島廻りの参加募集

### ○総会終了

### ○記念写真撮影（参加者全員）

（ 平田 広三郎 ）

## 総会後の活動

午前中の総会終了後、午後は恒例となっている小なきり浜の清掃活動に併せて植物調査が行われた。

この場所の清掃活動は平成 15 年から実施されているが、植物の調査は行われたことがなかった。今回、清掃班と植物班に分かれ、浜の周囲や中央の湿地まわりを観察調査した。短い時間であったが、41 種の植物を確認することができた。そのなかでもひときわ目立ったのは満開の白い花「ザイフリボク」。P V の活動を応援しているように揺れていた。

また、荒れてはいるが山道もあり、今後、観察コースとして歩くことができるか、日を改めてゆっくりと観察をしてみたい。

( 夔田 祐子 )



小なきり浜の清掃

## ※新宮島八景選定

総会出席者の投票により（一人 5 票）候補 14 点の中から八景を選定しました。

- |          |           |         |             |
|----------|-----------|---------|-------------|
| ○聖崎・蓬萊岩  | 27 票      | ○入浜海岸   | 19          |
| ○鷹ノ巣高砲台跡 | 18        | ○岩船岳の船岩 |             |
| 17       | ○博打尾からの遠望 | 16      | ○鷹ノ巣からの巖島海峡 |
| 13       | ○江之浦の山桜   | 12      | 13          |

西さんの後任自然保護官

## 西野 雄一さん プロフィール

出身地 大阪府吹田市

家族 妻（道産子）

経歴：

学生時代は日光や尾瀬で野生動物の調査をしていました。その後、ひょんなことから環境庁に入り早くも 10 年が過ぎました。



平成 12 年 4 月環境庁入庁。

近畿地区自然保護事務所公園保護科(新宮市)

→釧路自然環境事務所野生生物課（釧路市）

→近畿地方環境事務所野生生物課（大阪市）

→環境省自然環境局野生生物課を経て平成 22 年 4 月 1 日より広島事務所自然保護官。

趣味 山登り（日帰り）、温泉、読書。

ひとこと

これまででは野生生物関係の仕事をすることが多く、国立公園の仕事は久しぶりです。まずは、現地を見ることからはじめていきたいと思います。

宮島地区のパークボランティアさんの活動はとても活発で他の地域の参考となっていると聞いています。

今年は国連が定める「生物多様性年」であり、第 10 回生物多様性条約締約国会議（COP10）が名古屋で開催されることから、自然保護に関する取り組みについて、これまで以上に注目が集まると思います。

皆様の活動がより一層盛り上がるよう、私もお手伝いさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○弥山登山道の幻の滝 12 以上八景

○選外

\*弥山登山道 八丁町石 \*台風災害後の  
1 号堰堤 \*小なきり浜・ハマゴウ

\*室浜道クロバイの白い花 \*大砂利地蔵の  
滝 \*弥山とアカガシ、トサムラサキ

# 新入会員紹介

平成22年4月入会

佐藤 佐十四 環境整備部会

- ①廿日市市 阿品台 O型
- ②新潟県中魚沼郡 廿日市市
- ③昨年11月の公募観察会に参加して、自分でも役に立ちそうなボランティア活動がありそうと思い
- ⑤山歩き
- ⑥石鎚山（1,982m）
- ⑦宮島の小中学生がよく挨拶をしてくれること
- ⑧子供への虐待（すぐTVチャンネルを変えます）
- ⑨なるようになる



金山 芳之 観察部会

- ①広島市南区 B型
- ②山口県下関市 下関～京都～東京～大阪～広島（40年）
- ③長年、宮島の自然を見続けて来ましたが、組織の中で目的を持って活動するのもよいのではないかと考えています
- ④宮島の磯・生き物調査団  
代表、広島市植物公園  
ボランティアガイド、みやじま未来ミーティング（3M）中国環境ネット理事など多数
- ⑤自然観察、写真、企業再生、町興し
- ⑥富士山
- ⑦毎日小さな感動を求めて生きています
- ⑧この歳になると余り腹も立ちません
- ⑨いつでも夢を・・・♪
- ⑩自然を紹介したホームページで、宮島の自然も紹介しています  
Webサイト「new 自然を友に生きる」



## ◇自己紹介◇アンケート

- ①現在住んでいる所、血液型
- ②出身地、今までに長く住んだ所
- ③PVに応募した動機
- ④他にボランティア活動していますか？
- ⑤趣味、特技など
- ⑥今までに登った一番高い山は？
- ⑦最近何か感動したことがありますか？
- ⑧最近憤慨していることがあれば
- ⑨好きな言葉
- ⑩その他自己PRなどなんでも

吉崎 すぐる 俊 環境整備部会

- ①広島市安佐南区東野 A型
- ②山口県熊毛郡上関町
- ③たまたま募集を知り宮島の清掃の手伝いが出来ればと思い
- ⑤読書、釣り
- ⑥近所の阿武山
- ⑧高速道路が2000円になること
- ⑨何とかなる



平野 清 観察部会

- ①廿日市市宮島町 A型
- ②宮島町 福山市計10年、東京 計9年
- ③地元への社会貢献
- ④宮島さくら・もみじの会
- ⑤釣り、ゴルフ、旅行
- ⑥富士山
- ⑦宮島さくら・もみじの会を立ち上げたこと
- ⑧包ヶ浦に植樹されたとみられる松が約10本枯れています
- ⑨誠意
- ⑩わりと熱しやすく、わりと冷めやすい。しかしボランティア活動は頑張って続けますので、よろしくお願いします。



## 釜谷 義郎 観察部会

- ①廿日市市宮島町 A型
- ②大竹市、宮島町
- ③宮島の自然保護に協力したいので
- ④NPO 宮島ネットワーク  
宮島さくら・もみじの会
- ⑤釣り、ゴルフ、山歩き
- ⑥富士山
- ⑧挨拶が出来ない人が多くなったこと
- ⑨耐えて勝つ
- ⑩第二の故郷宮島に恩返ししたい



## 大西 順子 観察部会

- ①廿日市市宮島口 O型
- ②廿日市市
- ③楽しみながら少しでも、お役に立てれば・  
なにしろ近いところに住んでいますので
- ④小学校の総合学習  
(野外観察の野鳥観察  
班)のお手伝いなど
- ⑤野鳥観察
- ⑥残念ながら特別な山は  
ありません、可部冠山、  
白木山程度
- ⑦珍鳥 (ソリハシセイタ  
カシギ・Pied Avocet)  
1羽が南岩国の大蓮田に  
迷って立ち寄り、さかんに餌をあさる様子  
が観察できしたこと (2010,4,17)  
きっと無事に渡りをしてくれるであろう。
- ⑨のほほん・空 (くう)



## 三次 正昭 観察部会

- ①廿日市市宮島町 A型
- ②同上
- ③宮島の自然保護活動に  
貢献出来る
- ④NPO 宮島ネットワーク  
宮島さくら・もみじの会
- ⑤水墨画、ゴルフ
- ⑥三瓶山 (1,126m)



- ⑦弥山山頂からのご来光
- ⑩「健康な老人になる人」の生活教訓五か条

- (か) 感動=深く心に感する事
- (き) 興味=面白さを見つける
- (く) 工夫=良い方法を考える
- (け) 健康=健やか・丈夫に
- (こ) 恋心=オシャレ・異性を恋しく  
思う事

以上の教訓を還暦迎えて日々の信条にして頑張っています

## 田渕 三紀子 観察部会

- ①廿日市市前空 A型
- ②北九州市、広島市
- ③毎日神の島を眺めて感  
動をいただき、守って  
もらっているような気が  
するので、ご恩返しに
- ④芸北町自然保護レンジ  
ヤー・おおの自然を愛  
する会でボランティア  
活動
- ⑤淡彩画、読書、自然散策、地学、文学など
- ⑥雄山(3,003m)白馬岳(2,932m)
- ⑦(いつも感動していることだが) 自然の  
再生力
- ⑧ゴミを撤去した翌日に大型ゴミが同じ場所  
に捨てられていること
- ⑨寛容、何とかなるさ、惻隱の情

宮島パークボランティアの会  
設立10周年記念

## 宮島の魅力再発見！

## “新宮島八景”写真展

日 時 6月3日(木)～8日(火)  
展示会場 ぎゅらりい宮郷(町家通り)

# 宮島二流記

(その5)

平田 広三郎

Q5:「厳島神社の朱色ずっと続いてきたものでしようか？」

本題は、2008~2009年にかけてのTVの放送と展覧会にヒントを得たものです。

A5:「一度だけ朱色が剥がされたことがあったようです。」

その状況を郷土の偉人で「国宝を創った男・六角紫水(漆芸家)」の紹介と朱色に再塗装された経緯によって説明していきます。

六角紫水(本名:藤岡注多良、慶応3・1867年~昭和25・1950年)は、江田島市大柿町の農家の長男として生まれ、岡倉天心(大正2年没)が、準備に奔走した東京美術学校に、横山大観らとともに明治22年(1889)第1回入学者に合格しています。漆工科には志願者がいなかつたため、紫水は誰もやらないことをやるのだからと「先んずれば人を制すことになると決心しています。意匠力に優れていた紫水には、入学前後のエピソードとして「キリンビールのラベルの麒麟」をデザインしたとの言い伝えがあります。

紫水は、尊敬していた天心が明治31・1898年 政治的思惑・私的怨恨により東京美術学校を辞職した際には助教授職を辞め、日本美術院に参加し、天心とともにアメリカのボストン・メトロポリタン美術館に足かけ5年滞在して日本文化財の調査・修理をしています。

天心は、明治維新の大変革(神仏分离・欧化政策等)に伴う国内美術品の大量破壊・海外流出など、古美術の受難を嘆いて、内務省古社寺保存会(明治29年)と古社寺保存法(明治30年)を実現させ、その後の国宝保存法、文化財保護法への礎を築いて、現在のような保護体制へと発展させています。美校卒業間もない紫水も、岩手県中尊寺金色堂の調査・修理を皮切りに、京都府他1府18県を足かけ7年にわって巡り、詳細な調査日記を残し、国宝を創った男と言わしめています。

一方 紫水は、進取の気概に富んでいたので、色漆・アルマイド漆器・漆の実の代用コ

ーヒー・漆塗りのパイロット万年筆・楽浪漆器(北朝鮮平壤近郊の楽浪郡で発掘された中国漢代のもの)の研究・建築物や自動車の漆塗装・御料車(天皇皇后両陛下や海外の来賓用に製作された鉄道車両)の漆塗装などの新たな材料や工夫にも挑戦しています。

厳島神社の朱が剥がされたのは、「明治の初め、神仏分離の際、当時の広島県令(知事)伊達某が、仏様などは皆捨てて了へ、神社の赤いのなんてない、お宮は白いものである、砂を付けて洗い落して了へ、と洗はした。」のが原因で、廃仏稀釈の際には、神社に対してもこういう行為が行われたようです。当時のものと思われる長崎大学付属図書館所蔵の絵葉書を見ると社殿は確かに赤くありません。それから30年も経ち、当時の事情を知るものが亡くなってしまった頃、厳島は元々白くない、昔の絵画作品には皆赤く描かれている、赤く無くてはならんという事になり、経緯は不明ですが塗り直しが決定されます。紫水は、「私の故郷のお宮であるから私の案出した方法で塗らして貰いたい。」と膠(にかわ)で丹(鉛の酸化物で赤色の絵の具)を練って塗るという方法で工事を行い、明治35年6月30日に竣工させています。厳島神社の朱色は、稻荷神社などのあでやかな朱に較べて少し白っぽく感じませんか!これは、紫水が再塗装する時に古い塗料を分析した結果、少し白色を混ぜているからです。

次回 Q6:は「干満岩の不思議ってなんでしょう?」です。

## 参考文献

- ・「NHK 広島放送局開局80周年記念 事業 ふるさと発スペシャル 国宝を創った男・六角紫水 厳島神社・修復の秘密」2008年
- ・「国宝を創った男・六角紫水展」図録 広島県立美術館 2008年11月

## 「みせん」41号発行予定

発行日 9月1日

原稿締切 7月末日

皆さんの投稿をお待ちしています

## 鷹ノ巣高砲台跡整備

日 時 5月 15 日 (土) 9:00~14:00  
 参加者 足立 井上 大西 小方嗣 奥田  
 川崎 小林み 佐伯 佐藤佐 末原 田中  
 平野 平山 前田 宮崎 三次 柳瀬  
 六重部 桑原自然保護官 (参加者 ↓)



## 入浜池のトンボ 5月の入浜定点観測

日 時 5月 15 日 (土) 9:00~14:00  
 参加者 岩崎 小川 弁田 松田 横路  
 池の水位は前回 (2/27) より高く (基準杭+1~2cm)、流入・流出が見られました。池の塩分濃度は各地点ともほぼゼロで、最近の冠水がないことが確認されました。流出側の水路の堆砂が原因のようです。

トンボ類の成虫は5種が確認され、優占したのはシオヤトンボ (60分あたり換算個体数 4.94)、才ツネントンボ (同 4.24) の2種で、このほかホソミオツネントンボ (同 0.71)、ギンヤンマ (同 0.71)、シオカラトンボ (同 3.12) でした。全体に少ない印象は、春羽化の種や成虫越冬の種が占める春先らしい結果ともいえますが、過去2年の4~5月に確認



ホソミオツネントンボ

されていたアオモンイトトンボやムスジイトトンボなどが幼虫も含めて全く見られなかったのが少し気になります。今春の低温続き等の影響で、出現が遅れているだけかもしれません、次の夏場の調査で確認したいと思います。

ヤゴはアカネ属 (若齢) が採集されたのみでした。このほかタモ網では、マメゲンゴロウや微小なガムシ・ゲンゴロウ類、ヒメアメンボ、ユスリカの幼虫、ヨコエビ類、ワラジムシのなかま、メダカ、チチブ (水槽内で真っ黒な婚姻色に変化する様子を観察でき、一同、感嘆しました) 等を採集。

池の周囲では、イワタイゲキの黄色い花がみられ、ハンゲショウも芽生えていました。また入浜では、砂浜へのハマゴウの進入が目立っていました。今シーズンも季節変化や環境の変化に気をつけながら、調査にあたりたいと思います。

( 松田 賢 )

### ◇ 編集後記 ◇

▼会設立10周年で「みせん」も40号を数えるまでになった、初めの頃はなかなか原稿を書いて貰えなかったのが、最近は積極的に投稿する人も増え、内容も充実してきている。会員のコミュニケーションに欠かせないツールになっているものと確信する。これからも「みせん」が会員共通の宝物になるよう大事に育てていきたいものである。

( 足立 )

### 瀬戸内海国立公園

#### 宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省 中国四国地方

環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6番 30号

広島合同庁舎3号館1階

TEL(082)223-7450・FAX(082)211-0455

#### 宮島詰所

(〒739-0505)廿日市市宮島町 1162-18

(宮島桟橋 2F)